

～ 明治～昭和の鈴川地区 ～

明治時代、鈴川地区は広大な砂丘地帯でした。青く広い海があり、近くには砂丘と松林があり、そして富士山があり・・・。
当時はまだ家もほとんどなく、その景観を壊すようなものなにもありませんでした。元吉原地区からの眺めは素晴らしいものだったでしょう。その当時の話を少し書きたいと思います。

別荘地

明治22年に鈴川駅が開通され、それに伴って東京の財政界の人や役者さん達が別荘を元吉原地区に建てました。それは、多い時で30数軒あったそうです。

その所有者は

「第9代目 市川団十郎」

「初代 市川左団次」

「初代 市川猿之助」

の

「久我男爵」など、さまざまでした。

しかし、明治32年の大津波など度重なる自然災害で別荘は崩壊してしまいました。

元中の石垣

元中の石垣は、昔の生徒が積んだものだそうです。今は昔に比べて減っていますが、昔は外周を全部囲んでいたそうです。正面玄関前の駐車場に、記念碑が残されています。

感想

自分はこのMETの

「元吉原史跡巡り」の学習をして

↑ 名馬・神風号の碑

今まで自分の知らなかった意外な歴史や伝説など、自分の地域に関わることをいろいろと知ることができました。「鈴川競馬場」、「別荘地」など今の元吉原の様子からはとてもじゃないけど考えられません。また、「リゾートホテル」なども・・・。たぶん、こういったことは、この授業をしなければ知ることはできなかったと思います。また、体験学習はとても楽しかったです。今この授業を終えて感想を書きながら、よかったと思いました。

元吉原の史跡



鈴川競馬場

鈴川競馬場は今の富士塚のあたりから、石油基地のあたりにあった競馬場です。

今、そのあたりは住宅地ですが競馬場のトラックがそのまま道路（コンクリート舗装はされています）になっています。

ただ、さほど大規模な競馬場ではなく、年に3～4回開催される程度

草競馬に毛がはえた程度のものであったそうです。

また、小高くなった丘には「神風号」という名馬の碑があります。そこには

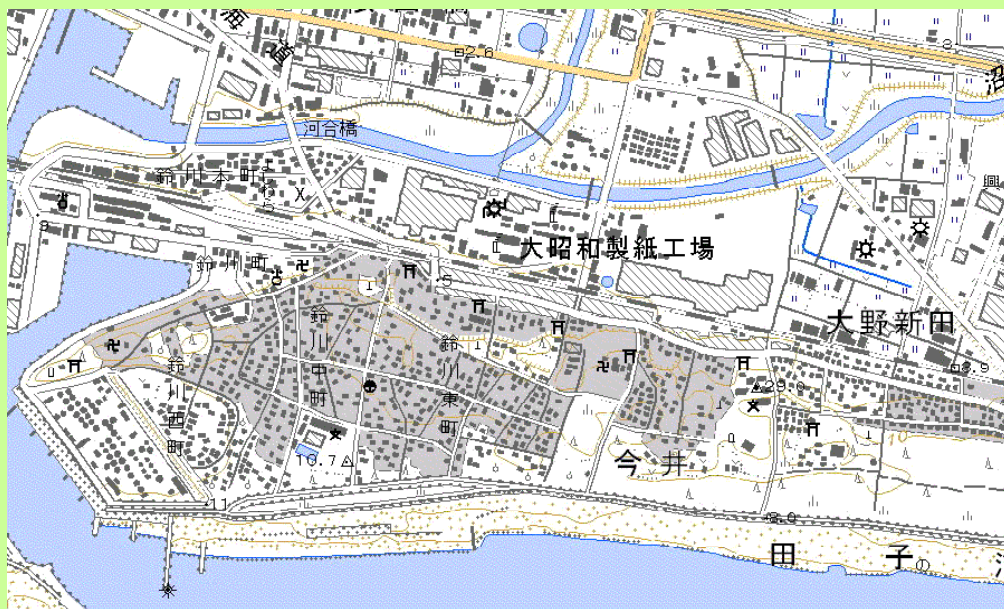
「愛馬、神風号は、明治40年

7月5日、鈴川競馬場において負傷死す」と刻まれています。



元吉原中学校 K.H.

元吉原地区の地図



六つ眼鏡

六つ眼鏡は、昔鈴川にあった石水門の呼び名です。水門が六つあったため、このような呼ばれ方をしました。今は水門はありませんが港の見える丘公園に、この水門の記念碑があります。



葉隠れ塚の伝説

葉隠れ塚、それは林の中に隠れてひっそりと建っています。ほんとは写真がほしかったのですが、薄暗い林の中に隠れていて、ただでさえほとんど見えにくかったため、撮るのは・・・。この塚には悲しい伝説があります。今から370年前、この地域である事件がありました。九州佐賀の藩主の草履取りが無礼をはたらき殺されました。それを見た同僚の吉左衛門が、怒って、傷をおわせた武士に斬りかかりました。幸い、その傷は軽傷だったのですが・・・。吉左衛門はその武士の怒りをかい、切腹することになってしまいました。そして、吉左衛門は・・・。その吉左衛門と草履取りの剣之助の墓が、この葉隠れ塚です。

富士塚

富士塚は、鈴川にある石塚です。7～8mほどに積み上げられた石塚の頂上には祠があり、

そこから富士山を眺めることができます。(さらに、鈴川、浜町を一望することも可能です) また、塚のそばには鳥居と碑があり、歴史を感じることができます。



えんま堂

鈴川にあるお堂です。そばには六地藏があります。
しんぷう

名馬神風号の碑

明治40年7月5日、鈴川の競馬場で亡くなった、名馬・神風号を祀った碑です。この神風号は、負傷して死んでしまったそうです。

※競馬場については後述。

阿字神社

阿字神社は、仏舎利塔のそばにある小さな神社です。”大蛇と人質”の伝説の主人公、阿字が祀られています。

この大蛇と人質伝説については書きませんが、とても悲しい物語です。柏原の東田子駅の左隣にはこの阿字の旅仲間たちを祀った六王神社があります。



港の見える丘公園

港の見える丘公園は、鈴川にある公園です。この公園には史跡や珍しいものなどいろいろあります。園内には阿字神社、仏舎利塔、展望台。また、そばにはお寺があり、そこには鑑真(がんにん)の像があります。(下の写真)

展望台からは、港が一望できます。夕方になると、西側の港には夕日が光線を描きながら、そして海を真っ赤に染めながら、静かに沈んでいきます。一度見てみてはいかがでしょうか? また、南側には石油基地と松林、東側には仏舎利塔、北側には工業地、そしてそのバックには、富士山。この展望台からの眺めは素晴らしいです。もし、近くにお越しの際はぜひ寄ってみて鑑真像→



リゾートホテルとプール

リゾートホテルとプール、その2つの施設は今ではもうありません。その2つの施設は昭和18年になくなってしまったからです。リゾートホテルは昭和7年11月に元吉原地区を襲った大型台風により倒壊した小学校の校舎を利用して造られました。昭和8年8月に「初代 田子の浦ホテル」として毘沙門天南側にオープンしました。プールは、丹那トンネルの為に持っていかれた砂を掘った穴を利用して造られました。長さ50M 横幅20Mで、今のマリンプールのような盛況ぶりだったそうです。しかし、戦争の影響で昭和18年にホテルが廃業してしまうと同時にプールも廃止されてしまいました。そして・・・。リゾートホテルがあった場所は今、管理が行き届いていない荒れた林になっています。また、プールがあった場所は、今はもう海の中です。